



てらとぴあ通信

令和6年
4月号

発行：手良公民館

◆◆ 公民館講座のお知らせ ◆◆

令和6年度も地域の皆さんに楽しんでいただけるよう、公民館講座を計画しました。趣味や学習などを通して充実した時間を過ごしてみませんか。いろいろな講座がありますので、ぜひご参加ください。

4月の公民館講座予定

23日（火） わいわいくらぶ

5月の公民館講座予定

- 9日（木） 水彩アート教室
17日（金） 茶道教室
21日（火） わいわいくらぶ
22日（水） 四ツ葉の集い（映画鑑賞）
24日（金） おいさんずくらぶ（スポーツ吹き矢に挑戦）
27日（月） 手良の歴史講座（古文書 No.1）



📌 今月お配りする講座の募集チラシは以下のとおりです。

- ・令和6年度 講座のお知らせ・わいわいくらぶ・水彩アート教室・俳句募集
楽しい童謡の会・てらとぴあ自習室のお知らせ

※「令和6年度 講座のお知らせ」チラシにて、各講座の募集時期などを記載してありますので、ご参考にしてください。

◆◆ 館長のほっとたいむ ◆◆



先日、歴史講座で講師としてお見えになった高遠町歴史博物館の福澤学芸員さんに講座終了後、「時間があればお茶でもどうですか？」と声をかけた。

「では、ちょっと」ということで、一杯のコーヒーを入れる。講座を終えてほっとしている福澤さんとの楽しいひとときと雑談の中で、来年度の講座内容の構想が生まれてくる。こういう時間が大切なんだと思った。

おいさんずくらぶ最終講座の「ボーリング大会」の後の「焼き肉ランチ」もそうだった。食べながら飲みながらの会話や雑談の中に、会員の講座に対する思いや願いを理解することができた。

「館長、お茶入る？」と地域住民が気軽に訪ねて来て、お茶を飲みながら公民館活動のことや地域課題について対話できるような公民館になればと思っている。

手良に伝わる昔話（竹中館長再話）

◆◆「目釘の鶏」（めくぎのにわとり）①◆◆

旅人が野中の道で日が暮れて、真っ暗になって困っていた。よく見ると向こうに灯がちらちら見えるので、喜んで行って見ると、一軒家があった。「ごめん」と声をかけると、戸があいて一人の男が顔を出した。「途中で暮れて困っております。泊めていただけないか」と言うと、「上がりなさい。お泊めしよう。お願いしたいこともあるから」と言ったので、入って居間に入った。

男は「この奥に病人がいます。夜中になると『旦那、居申したかな』と言うので『居申したぞよ』と答えると落ち着きます。手前は隣の村に用事がありますので出かけます。しばらく留守居をしてください。そして病人が『旦那、居申したかな』と言った時『居申したぞよ』と返事をしてやってください」と頼んで出かけてしまった。（続く）

※目釘：刀身が抜けないように柄と茎に釘のような留め具を通して固定した。この留め具を「目釘」と言う。

（下手良 宮原 弘さんより採集 聞き取り 竹中雅幸 2002年）

◆◆ てらとぴあ活動スナップ ◆◆

てらとぴあにはいろいろな講座があります。皆さんもぜひご参加ください。



わいわいくらぶ 3月5日(火)開催
1年間でとっても大きくなりました！



おいさんずくらぶ 3月8日(金)開催
ボーリングで楽しく交流しました。



今後も行事や講座の様子なども発信していきますので、お楽しみに。

← カラー版掲載の伊那市ホームページ下記のURLまたはQRコードからどうぞ！！
http://www.inacity.jp/shisetsu/kominkan_senter/terakominkan/index.html